

### ■開催概要

日 時：令和4年2月3日（金）  
午後6時30分～8時30分

場 所：片町文化センター 3階 講堂

出席者：7名

内 容：分倍河原駅周辺地区におけるまちづくりの経過  
まちづくり誘導計画の検討内容



### ■当日の主なご意見

区分	主なご意見
まちづくり誘導計画について	<p><b>&lt;商店街通りのセットバックに関するルールについて&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セットバックに対する市の説明が当初は歩行者空間とするということだったが、現在は看板等を置くスペースとするというふうになってきている。</li> <li>⇒これまでの地区計画等検討会等でのご意見も踏まえ、考え方を改めて提案している。（市）</li> <li>・商店街通り沿道権利者と商店街通りの利用者ではセットバックについて答え方が違う。セットバックについては沿道権利者の意向が大切である。そうした意味でアンケートにおける利用者の賛成意見は、地区計画においてはほとんど意味をなさない。</li> </ul> <p><b>&lt;地区計画について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区計画等検討会は当初は地区計画の検討を目指していたが、途中からまちづくり誘導計画の検討となった。この計画は将来に地区計画の策定に向かっていくものなのか。</li> <li>⇒まず、まちづくり誘導計画を策定して、必要であるという意見があれば法的拘束力のある地区計画について検討していきたい。（市）</li> <li>⇒そもそも、まちづくり誘導計画とは府中市地域まちづくり条例に基づくもので、地区計画を目指しながら、地区計画以外の内容を含みつつ、幅広く将来のまちの姿を示すものである。（コンサル）</li> </ul> <p><b>&lt;今後の検討方法について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北西側住宅区域と商店街区域では状況が違うので、別々に検討し、ある程度出来上がったところで、合同で検討会を開いてまとめていってはどうか。</li> <li>・北西側住宅区域と商店街区域の2つに分けて検討を進めることについて、私は賛成ではない。住宅区域と商店街区域は駅を中心に深くかかわっているので、できるだけ一緒に開催した方がよい。</li> <li>・まちづくり誘導計画の策定までに時間がかけられない場合は、別々に開催したほ</li> </ul>

うがよいが、時間をかけられるなら、一緒に開催した方がよい。

・鉄道事業者との協定を結んだということだが、基本協定の内容の説明がない。

・駅や駅前広場がどのようになるのかわからなければ、商店街をどのようにつくっていくのか検討できない。

⇒検討のスケジュール、進め方は今後検討したい。(市)

⇒まちづくり誘導計画は別々に作っても良い。分倍河原駅周辺地区ということでトータルには考えていかななくてはならない部分があり、今回の誘導計画の案では1つにまとめている。また、駅周辺の基盤整備のあり方がもう少し見えてきてから、まちづくりルールについて検討するというのも可能である。(コンサル)

⇒場合によっては、この課題については整備に関係なく、現時点で課題解決に向けたまちづくりルールの検討ができるという点を整理する回を設けることも考えられる。(市)

#### <検討時間の確保について>

・検討時間を十分に確保してほしい。

⇒毎回新しいメンバーが来られるため、資料の説明が長くなっており、仕方がない面もある。十分に検討時間が取れるよう方法を模索したい。また、検討会への参加人数が少ないため、改善方法を考えていきたい。(市)

・開催案内に初めて参加された方にもわかりやすい会にするとあるが、内容が難しいのでなかなか困難だろう。

⇒説明に1回分の時間を充て、次の回は全て検討に時間を充てるというやり方もある。メンバーが固定していれば、資料を事前に送り、検討時間を十分に取ることもできる。(コンサル)

### 駅周辺の基盤整備について

#### <駅前の溜まり空間について>

・溜まり空間の整備により無くなってしまいう店舗の代替地が必要である。代替地について市は真剣に考えてほしい。

⇒権利者の方とお話していると分倍河原への愛着を感じるが、代替地となる市の土地が駅周辺にはない。一般的には、移転していただくために、保証金という形で対応している。(市)

### その他

#### <情報公開について>

・地区計画等検討会への基盤整備に関する情報の出し方が少ない。駅周辺の基盤整備のイメージ図もオープンハウスでいきなり出てきており、驚いている。

⇒現在事業についてお見せできるものが少ないため、地区の現況をご説明するためのVRを作成した。(市)